

Good Job  
グッドジョブ!!

現場で働くプロに聞く!!



# 理容師

Barber

名前  
ひ おき えい じ  
日置 英二 さん

店名  
Barber&BeautySalon 髪美遊 (宮園)

職歴  
29 年

シェービングクリームやシャンプーのさわやかな香りが漂う店内で、髪をカットするだけでなく、顔剃りやマツサージを施し、さわやかにしてくれる理容師。今回は、町内で理容師としてハサミを握る日置さんに話を伺った。

## 「手に職を」で免許取得

昭和47年創業の理髪店を実家に持つ日置さんだが、学生のころは理容師になろうという思いがあまりなかったそう。

「自分は何がしたいのかと考えた時、手に職を持つ意味で、理容師免許は取っておいて損はないと思いました」

いつしかそんな気持ちが生えた日置さんは、理容専門学校に通うことに。こうして1年間、理容専門学校で学び、日々練習に励んだ。技術を磨いていくうちに、理容師の楽しさへのめり込んでいった。

卒業後、1年間のインターンを経て、国家試験に無事合格した日置さんは、理容師の第一歩を踏み出した。

## カットまでの道のり

免許取得後は技術を磨くため、他の理髪店で働くことに。しかし、免許を持っているとはいえ鋭利な刃物を扱う理容師。簡単にはカミソリやハサミを使わせて

もらうことはできなかった。

「免許を取っただけでは一人前とは言えません。まずは掃除や洗濯、お客様にシャンプー・マツサージをしたりの下積み。店でカットできるまで、どんなに早い人でも3〜5年は掛かります」

「こんなはずではなかった」と、下積みのうちに辞めてしまう人も多いとか。

「毎日のシャンプーで、手荒れが治らず泣く泣く辞めていく人もいますね」

カットや顔剃りができるようになってからも気を抜けないそう。

## 技術と会話で満足を生む

「理容師はおお客様のイメージする髪型にいかにな近づけるかが大切です。なので会話のコミュニケーションはとても大事。いろんな職種の方が来店されるので、話題集めに毎朝の新聞は欠かせません。逆にお客様から勉強になる話も色々聞かせていただいています」

心も身体も満足して「また来るね」の言葉のため、日置さんは常に感謝の気持ちを忘れず、日々技術やサービスの向上に努力を惜しまない。



プロが使用するハサミは1本で約10〜50万円。定期的に出すメンテナンスは約40日もの期間を要する。

十人十色の人の顔を、まるで自分の顔を剃っているかのように剃り上げる理容師の技術は、まさに修練の賜物。